

平成29年度 第4回安城市市民協働推進会議議事要旨

日時	平成30年1月20日（土） 午前9時15～正午	
場所	安城市民交流センター2階 多目的ホール	
出席者	委員	岩井洋二会長、青木一樹委員、加畑由紀子委員、山下眞志委員、石原春代委員、神谷由美子委員、草苺玲子委員、野上三香子委員、今井安隆委員（9名）
	事務局	三星市民生活部長、牧市民協働課長、澤田市民協働課長補佐、市民協働課職員3名（満島、神尾、太田）、松浦子ども発達支援係長（行政提示型事業テーマ説明のため出席）
次第	1 市民憲章唱和 2 会長あいさつ 3 議題 （1）平成30年度市民活動補助金交付対象事業本審査 （公開プレゼンテーション）	

**（牧課長）**

本日の審査会は、平成29年度第4回市民協働推進会議として位置づけております。本日の委員の出席状況ですが、小島委員、小森委員、松岡委員、新任の杉浦委員、都築委員の5名の委員様よりご欠席のご連絡をいただいておりますが、出席をしていただきます委員が半数に達しておりますので、安城市市民協働推進会議規則（第3条第2項）の規定により、会議は成立していることをご報告いたします。

- 1 市民憲章唱和
- 2 会長あいさつ

**（岩井会長）**

みなさま、おはようございます。本日はお忙しい中ご出席をいただきましてありがとうございます。

本日は、平成30年度市民活動補助金本審査ということで、平成30年度に実施していただく、市民活動補助制度の対象事業を決定する、大変重要な会議になります。

市民活動補助金については、市民の皆さまからの寄付と、その同額を市から積立する「市民協働推進基金」が原資となっております。市民のみなさまからいただいた大切な寄付と税金が財源となっておりますので、審査員のみなさまにおかれましてはぜひ公平な観点で審査していただくことをお願いし、簡単ではありますが、私からの挨拶とさせていただきます。

**(牧課長)**

ありがとうございました。続いて、新任の委員の方を2名ご紹介いたします。アイシン・エイ・ダブリュ株式会社人材開発本部総務部次長の今井安隆委員と、一般社団法人安城青年会議所理事長の杉浦正典委員です。杉浦委員につきましては、本日所要によりご欠席でございます。

それでは、審査に移らせていただきます。まず、本日のスケジュールと審査方法等について、市民協働課課長補佐の澤田より説明させていただきますので、お聞き下さい。

**(澤田課長補佐)**

《本日のスケジュールと審査方法について説明》

**(牧課長)**

続いて行政提示型事業のテーマについて、担当課より説明をさせていただきます。

初めに、行政提示型事業テーマ1「男女共同参画の啓発事業」について、市民協働課より説明させていただきます。

**(満島)**

《行政提示型事業テーマ1「男女共同参画の啓発事業」について説明》

**(牧課長)**

続いて、行政提示型事業テーマ2「発達障害のある子どものスポーツ・文化活動推進事業」について、子育て支援課より説明いたします。

**(松浦子ども発達支援係長)**

《行政提示型事業テーマ2「発達障害のある子どものスポーツ・文化活動推進事業」について説明》

(山下委員)

これからの審査に係る部分だと思いますので、質問させてください。子ども発達支援センターとして、市民が発達障害を抱える児童に対する指導について、アドバイスを求められた場合、フォローしていただける予定があるのでしょうか？

(松浦係長)

現時点では、事業者向けの指導を想定しており、一般の団体向けに指導することは決まっていません。しかし、そうしたニーズがあるのであれば、ぜひやっていきたいと思います。

(山下委員)

ありがとうございました。

(牧課長)

よろしいでしょうか？それでは、1番目の発表者の方は準備をお願いします。

### 3 議題

(1) 平成30年度市民活動補助金交付対象事業本審査

(牧課長)

それでは、プログラム番号1番、イワカガミの「発達障害児とともに森を歩く」です。この事業は「行政提示型事業」の「発達障害のある子どものスポーツ・文化活動推進事業」の対象事業です。それでは、発表を始めて下さい。

#### 《イワカガミより事業の説明》

(牧課長)

ありがとうございました。それでは、質問、意見等のある委員様は挙手をお願いします。

(山下委員)

募集人数10人が確保できる見込みはありますか。

(イワカガミ)

自信はあります。

**(山下委員)**

発達障害に関する知識や経験はないとのことですが、知識については、センターの方たちとの協力など、身に着ける方法はあるはずです。発達障害といっても症状は様々です。ぜひそういった知識は身に着けていただきたいと思いますのでよろしくをお願いします。

**(イワカガミ)**

ありがとうございます。

**(青木委員)**

発達障害児たちの「自己効力感」を高め、行動変容につなげていくと書かれています。行動変容につなげるための工夫はどのようなものがありますか。

**(イワカガミ)**

大人があれこれプログラムを考えて制約を設けるより、子どものルールの中で自由にやらせることが、過去の経験を踏まえて重要だと思います。

**(神谷委員)**

お絵かきをするということですが、中には描けない子もいると思います。そういった子に対するフォローはどうする予定ですか

**(イワカガミ)**

描けないのであれば、無理に描かせる必要はないと思っています。

**(牧課長)**

それでは、イワカガミの発表は以上とさせていただきます。ありがとうございました。次の発表者の方の準備をお願いします。

**(牧課長)**

続きまして、プログラム番号2番は、特定非営利活動法人東海ファシリティーの「スポーツと食育を軸としたコミュニティー及び異文化相互理解促進事業」です。発表を始めて下さい。

《特定非営利活動法人東海ファシリティーより事業の説明》

**(牧課長)**

ありがとうございました。それでは、質問、意見等のある委員様は挙手をお願いします。

**(石原委員)**

食材を「もらう」という言葉が気になります。「子供が来たからあげよう」というようなお情けではなく、労働に対する正当な対価としていただくという考え方でよいでしょうか。

**(東海ファシリテーター)**

子供が大人と同じ内容の仕事をこなすことは難しく、まずは、とにかく働くことによって、自分の生活が、親の仕事による対価によって成り立っていることに、何となくでも気づいてもらうことが大事だと考えています。

また、自分たちも社会の一員でいろいろな人に関わっているということに重点を置いて考えています。

**(山下委員)**

貴団体は、NPO法人ですので、「フードロス」等のもう少し踏み込んだことも子どもたちにわかってもらうような工夫をしてはどうかと思いますが、そうしたお考えがあるかどうかをお聞かせください。

**(東海ファシリテーター)**

私たちの団体では、次のステップとして放課後の子どもたちの居場所づくりとして、いわゆる「子ども食堂」の運営を考えています。そこに余った食べ物を上手に持ってくるのができないか、その仕組みが作れないかと考えています。

**(岩井会長)**

全体的にやることが幅広すぎる印象を受けます。ですので、異文化交流なり社会体験なり、どこかに絞ってやるべきではないかと感じました。

**(東海ファシリテーター)**

「つながり」ということに重点を置いて事業を行う予定ですので、絞り込むことも必要かもしれませんが、ここまで行う必要があると判断しております。

**(牧課長)**

それでは、特定非営利活動法人東海ファシリティーの発表は以上とさせていただきます。ありがとうございました。次の発表者の方の準備をお願いします。

**(牧課長)**

続きまして、プログラム番号3番はハッピーハッピーエンジェルの「わくわくドキドキファッションショー」です。それでは発表を始めてください。

《ハッピーハッピーエンジェルより事業の説明》

**(牧課長)**

ありがとうございました。それでは、質問、意見等のある委員様は挙手をお願いします。

**(石原委員)**

このイベントは、単に派手な格好をしてその場を楽しむことに重点を置いているのか、少し専門的な知識のいる方がいて、シニアの方の普段の服装をよくしていこうとしているのかどちらなのかを教えてください。

**(ハッピーハッピーエンジェル)**

このファッションショーは、自分の思い出の服を着て出演していただいています。また、観覧者が自分も思い出のあの服を着てみようと思って、次の参加者として来ていただけるようになればうれしいと思っています。

**(山下委員)**

出演者と会場が交流する仕組みが重要な点の一つかと思いますが、お考えを聞かせてください。

**(ハッピーハッピーエンジェル)**

体操やダンスなど、会場全体で参加者を巻き込む催しを行う予定です。

**(牧課長)**

それでは、ハッピーハッピーエンジェルの発表は以上とさせていただきます。ありがとうございました。次の発表者の方の準備をお願いします。

**(牧課長)**

続きまして、プログラム番号4番は、みこと&ダブルカホンズの「音楽による子供の健全育成活動」です。それでは、発表を始めてください。

《みこと&ダブルカホンズより事業の説明》

**(牧課長)**

ありがとうございました。それでは、質問、意見等のある委員様は挙手をお願いします。

**(山下委員)**

資料を拝見しますと、かなりハードなスケジュールに思えますが、これは本当にみことさんが望んでいることでよろしいでしょうか。

**(みこと&ダブルカホンズ)**

昨年度は、年間約140のイベントに出演しました。夏休み期間中も3時間程度のイベントに出演したこともあります。また、毎日彼女は5時間ぐらいギターの練習をしています。それに比べれば活動のほうが時間が短いということもあります。

**(山下委員)**

ぜひ、無理のないように活動を進めてください。

**(青木委員)**

みことさんは今後間違いなく成長していくわけですが、この活動を継続するためにどのようなお考えをお持ちでしょうか？

**(みこと&ダブルカホンズ)**

みことが学生の間は、活動を継続していきたいと考えております。また、児童クラブで活動する理由としては、後進となる人材の発掘という面もあります。

**(青木委員)**

補助金の趣旨として、継続して活動できるよう、補助金を通じて団体を育成していくという側面もあります。ぜひ後進の育成ですとか、活動にあった戦略を立てて進めていただきたいと思います。

**(牧課長)**

それでは、みこと&ダブルカホンズの発表は以上とさせていただきます。ありがとうございました。次の発表者の方の準備をお願いします。

**(牧課長)**

続きまして、プログラム番号5番は、ウィメンズネット安城の「女性のキャリアアップ支援事業」です。それでは、発表を始めてください。

《ウィメンズネット安城より事業の説明》

**(牧課長)**

ありがとうございました。それでは、質問、意見等のある委員様は挙手をお願いします。

**(山下委員)**

この事業の課題は、就業や起業など、まだまだ活躍できていない女性が多いということで、講座をきっかけに就労や起業、ボランティアなど何らかのアクションを起こしてくれる方を1人でも多く増やすことが、事業の成果とされています。一方で過去の修了生の中には、既に何らかのアクションを起こした方もたくさんいるといわれていますが、もしそうであるならば、既に課題は解決しており、事業をやる必要性はないのではないのでしょうか？

**(ウィメンズネット安城)**

何らかのアクションを起こした方というのは、あくまで過去の講座を受講した修了生の方たちの話です。市内には私たちが対象と考える方はまだまだ数多くいると考えていますので、講座を継続して開催することで、課題解決の輪を広げていきたいと考えています。

**(牧課長)**

それでは、ウィメンズネット安城の発表は以上とさせていただきます。ありがとうございました。次の発表者の方の準備をお願いします。

**(牧課長)**

続きまして、プログラム番号6番は、さんかく21・安城の「絵本の中の男女共同さんかく(参画)」です。それでは、発表を始めてください。

《さんかく 21・安城より事業の説明》

(牧課長)

ありがとうございました。それでは、質問、意見等のある委員様は挙手をお願いします。

《意見、質問等はなし》

(牧課長)

それでは、さんかく 21・安城の発表は以上とさせていただきます。ありがとうございました。次の発表者の方の準備をお願いします。

(牧課長)

続きまして、プログラム番号7番は、特定非営利活動法人5-CHAの「スポーツ・文化活動事業キッズ・エクササイズ講座およびプログラミング講座」です。それでは、発表を始めてください。

《特定非営利活動法人5-CHAより事業の説明》

(牧課長)

ありがとうございました。それでは、質問、意見等のある委員様は挙手をお願いします。

(山下委員)

事前に質問させていただいたことへの回答として、この事業の成果として目指すところは最終的に「別のスクールに通う」とあります。しかし一方で貴団体が課題として考えているのは、「失業者を減らす」という点です。この事業と貴団体が抱える課題がどのようにリンクしているのか、地域にある別のスクールに通うことが、どうして失業者を減らすことにつながるのか。その点についてももう少し詳しく教えてください。

(5-CHA)

自分以外の人との関わりや社会参加に対して、躊躇してしまうということが、発達障害児の抱える課題だと思います。この事業を通じて自己肯定感や自己効力感を養ってもらいたいと考えています。「自分はできるんだ」という自信を持った子や、失敗を克服した経験のある子は、実際に社会に出て困難に直面したと

きに、何かしら困難を克服するための努力をする傾向にあります。そうでない子は、「自分はダメなんだ」と引きこもってしまうという傾向にあり、実際にそういう子どもを何人も見てきました。ですので、若いうちにこうした気持ちを醸成していきたいと思っています。

**(山下委員)**

単に別のスクールに送り出すだけでなく、その先も見据えて活動するということでよろしいですね。

**(5-CHA)**

はい。

**(牧課長)**

それでは、特定非営利活動法人5-CHAの発表は以上とさせていただきます。ありがとうございました。

以上で、本日予定しておりました事業の発表は全て終了いたしました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。冒頭の概要説明でも申し上げましたが、本日の審査結果につきましては、2月下旬に申請団体の方に通知いたします。また、決定した事業につきましては、市公式ウェブサイトや広報あじょうにも掲載いたしますので、よろしくお願ひします。

なお、事業が採用された際には、計画通りに事業に取り組んでいただくと共に、来年度の平成31年2月頃に、市民や市民活動団体のみなさまの前で事業報告をお願いいたしますので、ご承知おき下さい。

それでは、以上をもちまして、安城市市民活動補助金本審査を終了いたします。皆様、ありがとうございました。

なお、審査員の皆様につきましては、長時間にわたり大変恐縮ではありますが、この後も採点結果の審議がありますので、審査表を事務局にお渡しのうえ、15分後に席へお戻り下さい。

また、申請団体及び傍聴の皆様につきましては、これからは非公開となりますので、ご退出をお願いいたします。

————ここからは非公開で審査結果について協議を行いました————